

参考 2 車輪脱落事故の発生状況と対応

I. 車輪脱落事故の発生状況

- ホイール・ボルトの折損による車輪脱落事故は、1999年1月以降2006年10月末までに、全国で少なくとも211件発生(2人が死亡、少なくとも24人が負傷)

II. 平成18年12月発生に大阪で発生した事故(報道等より)

- 本年12月には、ホイール・ボルトの折損による車輪脱落事故が大阪において3件相次いで発生

発 生 年 月 日	発 生 場 所	事 業 の 種 類	使 用 者 名	車 名	初 度 登 録 年 月	総 走 行 距 離 (km)	報 道 の 概 要	
H18.12.6	大阪府	国道1号線	運送会社	太陽コーポレーション姫路	三菱	H18.11	3,744	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成18年12月5日、国道を走行中の太陽コーポレーション姫路(兵庫県姫路市)のトラックのタイヤ2本が脱落 ○ 死傷者はなかった ○ トレーラーは三菱ふそうトラック・バス製「スーパーグレート」で、乗り始めて6日目の新車 ○ 脱落したホイールをハブに固定していたホイール・ボルトは8本全て折損 ○ 大阪府警は12月6日、道交法違反容疑で太陽コーポレーション姫路を自宅捜索 ○ 冬用タイヤに交換した際に、ホイールがアルミより薄いスチール製になったが、専用のボルトやナットを装着せず、タイヤを車軸に十分固定ないまま運行させた疑い
H18.12.14	大阪府	府道	運送会社	伊芸レッカー	トヨタ	H9.5		<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成18年12月14日、走行中の伊芸レッカー(大阪府大阪市)のトレーラーのタイヤ2本が脱落 ○ 脱落したタイヤに乗り上げたタンクローリーの運転手が胸を打って軽傷 ○ タイヤを車軸に固定するための8本のホイール・ボルト全てが折損 ○ 大阪府警は12月15日、道交法違反容疑でトレーラーを所有した伊芸レッカーと整備を請け負った折尾自動車工業(大阪府寝屋川市)を自宅捜索 ○ 平成18年5月に車検を行って以来、タイヤ交換はしていない
H18.12.14	大阪府	阪神高速湾岸線	運送会社	加藤運輸	トレルモビル	S56.2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成18年12月14日、走行中の加藤運輸(大阪府大阪市)のトレーラーのタイヤ2本が脱落 ○ 脱落したタイヤのうち1本は反対車線に転がったが、死傷者はなし ○ タイヤを車軸に固定するための8本のホイール・ボルトのうち7本が折損 ○ 大阪府警は12月16日、道路交通法違反の容疑で加藤運輸を自宅捜索 ○ 平成18年6月に車検

【対応】

- この秋には、関係団体に呼びかけて「連絡会」を設置し、冬用タイヤの履替時期である10月と11月において、連携をして重点的な啓発活動を行ったところ。(具体的には、パンフレット(45万部)の配布、ラジオ・スポットの実施、スポーツ紙への記事掲載など)
- 今後は、注意事項の更なる徹底のため、日常点検及び定期点検に関する法令(「自動車点検基準」及び「自動車の点検及び整備に関する手引」)を改正することとしている。